

# 日刊 勤労千葉

85. 2. 4  
No. 1855

### 国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電二五三五六（公衆）四七二（22）七二〇七）

## 事務局を勤労千葉におき『守る会』を発足（1/26）

1月26日、13時より「東峰十字路裁判被告三君を守る会」の発会式が動力車会館で盛大に行われた。  
発会式には、反動求刑を受けた秋葉義光氏、島村昭治氏、笹川己三夫氏はじめ家族の方、「守る会」代表世話人の関川宰氏、中野委員長、北原事務局長をはじめとした反対同盟各氏、葉山・一の瀬両弁護士、全国からかけつけた「守る会」世話人など60名をこえる闘う人々が集まり、反動求刑を許さず、全国の三里塚を闘う人々の力で必ず三名を守りぬくことを誓い合った。

三里塚の正義と裁判の不当性を明らかにし、絶対に三君を守りぬこう

関川代表世話人が訴え——  
発会式は、水野副委員長の司会で行われた。

冒頭、代表世話人の関川氏より「昨年11月21日、千葉地裁での秋葉君に懲役10年、島村君に同5年、笹川君に1年6月とい

であり、一切の責任は政府・公団にある。これを不問にふすこの重罪求刑攻撃は、反対同盟解体攻撃そのものであり、三里塚二期強行の突破口である。われわれは、三里塚の正義性と裁判の不当性を徹底的に明らかにし、三君を必ず守りぬき、闘いに勝利するため署名運動・カンパ活動を全国で展開しよう」とのあいさつを受けた。

つづいて、北原事務局長、被告三氏よりそれぞれお礼と「反対同盟20年の闘いの原則を守りぬき、断固勝利の日まで闘いぬく」という力強い決意を受けた。

発会式は、そのまま三君激励会に移り、忙しいなかかけつけた新谷のり子さんや各世話人、賛同人のあいさつ・檄電・メッセージが紹介され、三君を絶対に守りぬき、切迫した三里塚二期決戦勝利、3・24へ総決起しようとの決意を全体で確認し終了した。

「守る会」は、関川前委員長を代表世話人に13名の世話人で構成し、事務局は勤労千葉におく、吉岡法対部長から事務局長となり、全国に支援を訴えて行く予定である。

臨調・行革粉碎！ 三里塚ジェット闘争勝利！

## 反对同盟破壊の重罪求刑から 三君を守りぬこう



▲基調を提起する  
関川代表世話人、前列右側より、笹川氏、島村氏、一人おいて秋葉氏。

う重罪求刑は『今なお、3名が三里塚で生活し、反対闘争を闘っている』ことをその理由とする許しがたい超反動求刑だ。

反対同盟解体攻撃であるばかりでなく、全国の三里塚を闘う人民に対する挑戦であり、絶対に見すげせない。71年「9・16東峰事件」は、そもそも農民の意志をふみにじり「死者が出るまで中止しない」と宣言し、大木よねさんの自宅などを権力・機動隊の力で強制代執行し、多くの農民・労働者・学生等に凶暴な弾圧を行った過程での事件

## 松丸尾を守れ！ 北富士で現地闘争

1月20日正午より、東富士軍用道路建設阻止・北富士現地集会在、松丸尾（ひのきまるび）入会管理小屋前で開かれた。

### 軍用道路粉碎

集会には、三里塚反対同盟、婦人民主クラブ全国協議会をはじめ、二〇〇名をこえる反戦・反基地を闘う人々が結集、勤労千葉も代表6名が参加し、1月末にも予定されている政府・山梨県当局による入会林の強行伐採、入会小屋撤去―軍用道路建設強行の攻撃に対して怒りを叩きつけた。

決戦状況の下での集会で渡辺喜美江母の会会長は、「たとえ身体がハッ裂きになろうとも小屋を守る。戦争への道を阻止するため、私のあとに続いて闘って下

さい」と熱く訴えられた。この決意をうけ、勤労千葉を代表して永嶋津田沼支部青年部長が決意を表明し、軍用道路建設現場を包囲する怒りのデモを貫徹した。東富士軍用道路建設強行は、日本の反戦・反基地闘争の砦北富士を暴力的に解体せんとするものであり、また、日米合同演習強化Ⅱアジア侵略の実戦部隊養成とまさに軍事大国化攻撃の要をなす断じて許せない攻撃である。



一層強め、三里塚―北富士を軸に反動中曾根を打倒する闘いに総決起しよう。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！